

① 土壌モノリス展示室 (国内) Soil Monolith Room ① Domestic
 ② 土壌モノリス展示室 (森林・外国) ② Forest, Foreign

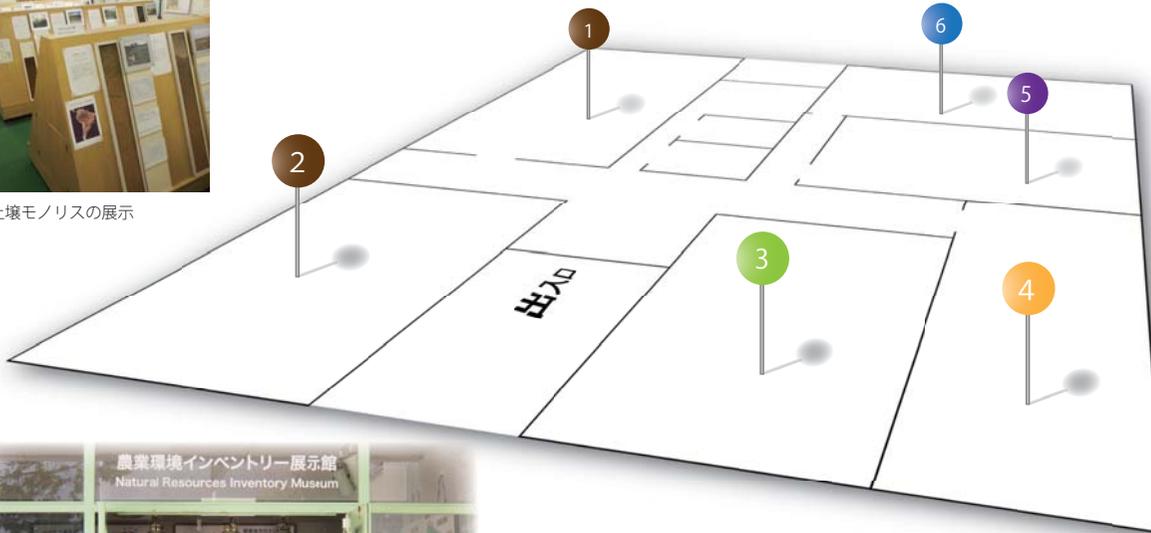
土壌モノリスとは、地面に穴を掘るなどして現れた断面を、そのままの姿で固定した標本です。研究所では、国内約 200 点、外国 32 点の土壌モノリスを所有しており、この展示館では、やせた土、肥えた土、赤い土、黒い土など、異なる条件でできたさまざまな土壌の実物を、直接比べてみるることができます。



全国各地の土壌モノリスの展示



外国の土壌モノリスの展示



展示室の配置図



入口正面には日本の代表的な土壌モノリスが並びます

農業環境
 インベントリー展示館
 Natural Resources Inventory Museum

⑥ 企画展示室 Planned Exhibition Room

企画展示室では、土壌モノリス（土壌断面標本）の作り方、明治時代の土性図、最新のデジタル土壌図のほか、地球温暖化適応策の研究成果などを展示しています。また、ウェブサイトで公開しているデータベース等を体験できます。



体験コーナーと公開データベースの例



⑤ セミナー室 Seminar Room

展示館内にあるセミナー室では、訪れたさまざまな方々に最新の研究成果を紹介するとともに、交流の場として利用されています。



市民講座のようす



高校生の見学のようす

④ 肥料・煙害・Fertilizer, Smoke Pollution,
 放射能モニタリング展示室 & Radioactivity Room

明治から昭和にかけておこなわれた肥料分析や、同じ時代の亜硫酸ガスによる農作物の被害（煙害）調査の資料を展示しています。

また、1959 年（昭和 34 年）から続けてきた農地土壌や農作物に含まれる放射性物質のモニタリング調査の結果や、2011 年の原発事故後の農地土壌の放射性セシウム濃度分布図、調査のための測定機器などを展示しています。



(左) 1915 年(大正 4 年)に撮影された四阪島精錬所(愛媛県)
 (右) 煙害を受けた植物の標本



③ 昆虫・微生物展示室 Insect & Microbe Room

昆虫展示エリアでは、1899 年（明治 32 年）以来、収集・保存してきた標本や、寄贈された標本などの一部を展示しています。研究所が所有する標本数は約 135 万点にのぼり、国内有数の所蔵点数になります。



昆虫展示コーナー



微生物展示コーナーの展示物

また、微生物展示エリアでは、1881 年（明治 14 年）から現在まで、約 135 年間にわたり採集・寄贈された標本を保存し、微生物研究に役立っています。